



コンフィギュレーション変更管理の使用

この章では、コンフィギュレーション変更管理機能を使用する方法を取り上げます。

この章では、次の内容について説明します。

- 「コンフィギュレーション変更管理の概要」 (P.8-1)
- 「コンフィギュレーション変更管理のライセンス要件」 (P.8-3)
- 「前提条件」 (P.8-3)
- 「コンフィギュレーション変更管理の注意事項と制約事項」 (P.8-3)
- 「プラットフォーム サポート」 (P.8-4)
- 「バージョン ブラウザの使用」 (P.8-4)
- 「アーカイブ ジョブの設定」 (P.8-14)
- 「アーカイブの設定」 (P.8-18)
- 「コンフィギュレーション変更管理のフィールドの説明」 (P.8-19)
- 「その他の関連資料」 (P.8-23)
- 「コンフィギュレーション変更管理の機能履歴」 (P.8-24)

コンフィギュレーション変更管理の概要

コンフィギュレーション変更管理機能を使用すると、管理対象デバイスのコンフィギュレーションをアーカイブに保存できます。アーカイブ済みコンフィギュレーションを表示および比較できます。

Cisco Data Center Network Manager (DCNM) 内のデバイスで使用可能な、任意のアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンに、管理対象デバイスの実行コンフィギュレーションをロールバックできます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「バージョン ブラウザ」 (P.8-2)
- 「アーカイブ ジョブ」 (P.8-2)
- 「アーカイブ設定」 (P.8-2)
- 「VDC のサポート」 (P.8-2)

バージョン ブラウザ

バージョン ブラウザ機能を使用すると、アーカイブ済みコンフィギュレーションの情報を表示したり、特定のコンフィギュレーション バージョンを表示して比較したり、1 つのコンフィギュレーション バージョンから別のコンフィギュレーション バージョンに変更をマージしたりできます。変更をマージしてコンフィギュレーションを変更した後、変更したコンフィギュレーションは、Cisco DCNM クライアントを実行するために使用しているコンピュータで使用可能なファイル システムに、テキスト ファイルとして保存できます。

バージョン ブラウザからは、デバイスの Cisco DCNM で使用可能な、任意のアーカイブ済みコンフィギュレーションを使用して、Cisco Nexus 7000 シリーズの管理対象デバイスのコンフィギュレーションのロールバックを開始できます。Cisco DCNM は Cisco NX-OS で使用できるロールバック機能を使用します。Cisco NX-OS ロールバック機能の詳細については、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS System Management Configuration Guide, Release 5.x』を参照してください。

アーカイブ ジョブ

アーカイブ ジョブ機能を使用すると、管理対象デバイスでの実行コンフィギュレーションの自動アーカイブを管理できます。カスタム アーカイブ ジョブは追加、編集、削除できます。ジョブは、ジョブの実行時間を決定する設定とジョブに含まれている管理対象デバイス リストで構成されます。コンフィギュレーションのアーカイブは、選択した曜日の決められた時間に定期的に行うことも、Cisco DCNM でデバイスのコンフィギュレーションの変更が検出されるたびに実行することもできます。ジョブにコメントを記すこともできます。

デフォルトのアーカイブ ジョブは常に存在します。削除することはできません。デフォルトでは、このアーカイブ ジョブはディセーブルです。

デバイスは 1 つのアーカイブ ジョブだけに割り当てることができます。デバイスをアーカイブ ジョブに割り当てると、Cisco DCNM はこれまで割り当てられていたジョブからそのデバイスを削除します。

管理対象デバイスがカスタム アーカイブ ジョブに割り当てられていない場合、Cisco DCNM は自動的にそのデバイスをデフォルトのアーカイブ ジョブに割り当てます。

アーカイブ設定

アーカイブ設定機能を使用すると、コンフィギュレーション変更管理に関連する設定を行えます。たとえば、Cisco DCNM が管理対象デバイスごとに保管するコンフィギュレーション バージョンの数、Cisco DCNM が管理対象デバイスごとに保管するロールバックとアーカイブ履歴エントリの数、コンフィギュレーション ロールバック中に Cisco DCNM が使用するファイル サーバなどを設定できます。

VDC のサポート

Cisco DCNM は Cisco NX-OS デバイスの各 Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を個別のデバイスとして扱います。このため、Cisco DCNM が正常に VDC を検出し、VDC を管理対象デバイスとして認識すると、Cisco DCNM は各 VDC の実行コンフィギュレーションをアーカイブに保存します。

コンフィギュレーション変更管理のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco DCNM	コンフィギュレーション変更管理には、LAN エンタープライズ ライセンスが必要です。Cisco DCNM LAN エンタープライズ ライセンスの取得およびインストールについては、『 <i>Cisco DCNM Installation and Licensing Guide, Release 5.x</i> 』を参照してください。

前提条件

Cisco DCNM でコンフィギュレーション変更管理機能を使用するには、次の前提条件が必要です。機能固有の前提条件の詳細については、プラットフォームごとのマニュアルを参照してください。

- コンフィギュレーション変更管理機能は、Cisco DCNM で管理されているデバイスだけをサポートします。つまり、Cisco DCNM でデバイスが正常に検出されている必要があります。
- コンフィギュレーション変更管理機能は、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに追加されているデバイスだけをサポートします。
- Cisco DCNM がコンフィギュレーションをアーカイブに保存するとき、またはコンフィギュレーション ロールバックを実行するとき、デバイスは Cisco DCNM から到達可能である必要があります。Cisco DCNM がデバイスに到達できないと、アーカイブ ジョブまたはコンフィギュレーション ロールバックは失敗します。

コンフィギュレーション変更管理の注意事項と制約事項

コンフィギュレーション変更管理には、コンフィギュレーションに関する次の注意事項と制約事項があります。

- 管理対象デバイスごとに最大 50 個のコンフィギュレーション バージョンをアーカイブできます。
- 組織の必要に応じて、アーカイブ ジョブおよびアーカイブ設定を設定します。
- デフォルトのアーカイブ ジョブをイネーブルにして、バックアップ ポリシーで許容できる最小頻度でジョブを実行するように設定することを推奨します。
- コンフィギュレーション ロールバックは、Cisco Nexus 7000 シリーズの管理対象デバイスだけで実行できます。
- アーカイブ済みコンフィギュレーションにアクセスできるのは、Cisco DCNM クライアントからだけです。クライアントには、アーカイブ済みコンフィギュレーションの表示、比較、削除を実行する機能があります。それぞれのアーカイブ済みコンフィギュレーションには、Cisco DCNM がコンフィギュレーションをアーカイブに保存した日時が付けられています。詳細については、「[バージョン ブラウザの使用](#)」(P.8-4) を参照してください。

プラットフォーム サポート

この機能は次のプラットフォームでサポートされていますが、異なる方法で実装される場合があります。注意事項や制約事項、システムのデフォルト、コンフィギュレーションの制限などに関するプラットフォーム固有の情報については、対応するマニュアルを参照してください。

プラットフォーム	マニュアル
Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ	Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル
Cisco Nexus 4000 シリーズ スイッチ	Cisco Nexus 4000 シリーズ スイッチのマニュアル
Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ	Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのマニュアル
Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチ	Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのマニュアル

バージョン ブラウザの使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「デバイスのアーカイブ ステータスの表示」 (P.8-4)
- 「デバイスのアーカイブ履歴の表示」 (P.8-5)
- 「コンフィギュレーション バージョンの参照とコメント」 (P.8-6)
- 「デバイスの現在の実行コンフィギュレーションのアーカイブ」 (P.8-6)
- 「アーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンの表示」 (P.8-7)
- 「コンフィギュレーション バージョンの比較」 (P.8-8)
- 「バージョン比較ツールの使用」 (P.8-10)
- 「コンフィギュレーションの相違のマージ」 (P.8-11)
- 「コンフィギュレーション ロールバックの実行」 (P.8-12)
- 「デバイスのロールバック履歴の表示」 (P.8-13)
- 「デバイスのすべてのアーカイブ済みコンフィギュレーションの削除」 (P.8-14)

デバイスのアーカイブ ステータスの表示

デバイスのアーカイブ ステータスを表示できます。デバイスのアーカイブ ステータスには、次の情報が含まれます。

- デバイスが含まれるアーカイブ ジョブがイネーブルかディセーブルか。
- デバイスが含まれるアーカイブ ジョブのスケジュール。
- デバイスが含まれるアーカイブ ジョブのジョブ ID。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョン ブラウザに表示されます。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** 表示するアーカイブ ステータスのあるデバイスをクリックします。
- [Details] ペインには、[Archival Status] セクションなど、デバイスのアーカイブ関連情報が表示されます。デバイスが含まれているアーカイブ ジョブがイネーブルの場合、[View Schedule] リンクが表示されます。デバイスが含まれているアーカイブ ジョブがディセーブルの場合、[Enable Archival Schedule] リンクが表示されます。
- ステップ 3** (任意) デバイスが含まれているアーカイブ ジョブの詳細を表示するには、[View Schedule] リンクまたは [Enable Archival Schedule] リンクをクリックします。詳細については、「[アーカイブ ジョブの詳細の表示](#)」(P.8-17) を参照してください。
-

デバイスのアーカイブ履歴の表示

デバイスのアーカイブ履歴を表示できます。アーカイブ履歴では、デバイスの現在の実行コンフィギュレーションから新しいアーカイブ コンフィギュレーション バージョンを作成する試行をすべて記録します。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョン ブラウザに表示されます。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** アーカイブ履歴を表示するデバイスをクリックします。
- [Details] ペインには、[Archival History] セクションなど、デバイスのアーカイブ関連情報が表示されます。
- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、[Archival History] セクションをクリックして展開します。
- [Archival History] セクションには、デバイスの新しいアーカイブ コンフィギュレーション バージョンを作成するすべての試行についての情報が表形式で表示されます。
-

コンフィギュレーションバージョンの参照とコメント

管理対象デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンを参照できます。参照すると、すべてのアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンの情報を表示できます。

また、アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンに関するコメントを追加、変更、削除できます。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョンブラウザに表示されます。

参照またはコメントするコンフィギュレーションバージョンのアーカイブが、Cisco DCNM に存在する必要があります。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** 参照するアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンが存在するデバイスをダブルクリックします。
- アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンのリストが、ダブルクリックしたデバイスの下に表示されます。[Summary] ペインには、各バージョンのバージョン ID、Cisco DCNM でそのバージョンが作成された日時、そのバージョンを作成した Cisco DCNM ユーザ、バージョンのコメントが表示されます。
- ステップ 3** (任意) バージョンにコメントを追加するには、次の手順を実行します。
- a. コメントを付けてアップデートするバージョンをクリックします。
- [Details] ペインには [Version Details] タブが表示されます。このタブには、[Summary] ペインに表示されるのと同じバージョン情報が表示され、さらに [Comments] ボックスも使用できます。
- b. [Comments] ボックスをクリックして、コメントを入力します。
 - c. メニューバーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を Cisco DCNM サーバに保存します。
-

デバイスの現在の実行コンフィギュレーションのアーカイブ

管理対象デバイスの現在の実行コンフィギュレーションをアーカイブできます。

現在の実行コンフィギュレーションのアーカイブは、Cisco DCNM にある最新のアーカイブバージョンが、現在の実行コンフィギュレーションと異なる場合だけ成功します。

作業を開始する前に

デバイスは管理対象であり、到達可能である必要があります。

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョンブラウザに表示されます。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** アーカイブに保存する実行コンフィギュレーションのあるデバイスをクリックします。
- ステップ 3** メニュー バーから [Actions] > [Archive Configuration] の順に選択します。
- ステップ 4** Cisco DCNM でコンフィギュレーションが正常にアーカイブに保存されたことを確認するには、デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンのリストを表示します。必要に応じて、デバイスをダブルクリックして、リストを開きます。新しいバージョンがリストの一番上に表示されます。



(注) コンフィギュレーションのアーカイブがスキップされたというメッセージがメッセージ ボックスに表示される場合、Cisco DCNM では、デバイスの現在の実行コンフィギュレーションと最新のアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンの相違が検出されませんでした。メッセージ ボックスを閉じるには、[OK] をクリックします。

アーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンの表示

アーカイブ済みコンフィギュレーションのバージョンを表示できます。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョン ブラウザに表示されます。

表示するアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンは、Cisco DCNM に存在する必要があります。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** 表示するアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンのあるデバイスをクリックします。
- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、デバイスをダブルクリックして、デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンを表示します。
- ステップ 4** 表示するアーカイブ済みコンフィギュレーションのバージョンをクリックします。
- ステップ 5** メニュー バーから [Actions] > [View Configuration] の順に選択します。
- [Details] ペインの [Configuration] タブに、選択したコンフィギュレーション バージョンが表示されます。



ヒント コンフィギュレーションのテキストを検索できます。検索するには、Ctrl キーを押した状態で F キーを押します。

コンフィギュレーションバージョンの比較

2つのコンフィギュレーションバージョンを比較できます。比較できるコンフィギュレーションは、Cisco DCNM にある任意の 2 つのアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンです。異なる管理対象デバイスにあるアーカイブ済みコンフィギュレーションも比較できます。また、アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンを管理対象デバイスの実行コンフィギュレーションまたはスタートアップコンフィギュレーションと比較することもできます。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョンブラウザに表示されます。


アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンを比較している場合、2つのバージョンは Cisco DCNM に存在する必要があります。

アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンを管理対象デバイスの実行コンフィギュレーションまたはスタートアップコンフィギュレーションと比較している場合、デバイスは Cisco DCNM から到達可能である必要があります。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。
- [Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。
- ステップ 2** 別のコンフィギュレーションバージョンと比較するアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンのあるデバイスをダブルクリックします。
- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、デバイスをダブルクリックして、デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーションを表示します。
- ステップ 4** 別のコンフィギュレーションバージョンと比較するアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンをクリックします。
- ステップ 5** 次の表を使用して、選択したバージョンを目的のコンフィギュレーションバージョンと比較します。

比較対象	実行する手順
現在のデバイスの最新のコンフィギュレーションバージョン	バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Latest] の順に選択します。
現在のデバイスの次のコンフィギュレーションバージョン	バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Next] の順に選択します。
現在のデバイスの 1 つ前のコンフィギュレーションバージョン	バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Previous] の順に選択します。

比較対象	実行する手順
別のコンフィギュレーションバージョンを選択	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ctrl キーを押し続けます。 2. 最初に選択したバージョンを比較する、アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンをクリックして、Ctrl キーを放します。 3. 選択したコンフィギュレーションバージョンのいずれかを右クリックし、[Compare with] > [Selected Versions] の順に選択します。 <p>選択したコンフィギュレーションバージョンが [Compare] タブの 2 つのコンフィギュレーション ペインに表示されます。 [Summary] ペインのリストの一番上にあるコンフィギュレーションバージョンが、左のコンフィギュレーション ペインに表示されます。</p> <p>ヒント アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンは、異なるデバイスから選択できます。</p>
現在のデバイスの現在の実行コンフィギュレーション	バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Current Running Configuration] の順に選択します。
現在のデバイスの現在のスタートアップコンフィギュレーション	バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Current Startup Configuration] の順に選択します。
別のデバイスのコンフィギュレーションバージョン	<ol style="list-style-type: none"> 1. バージョンを右クリックして、[Compare with] > [Another Device Configuration Version] の順に選択します。 [Details] ペインの [Compare] タブの左のコンフィギュレーション ペインに、選択したコンフィギュレーションバージョンが表示されます。 2. 右のコンフィギュレーション ペインの上にある [Device] リストから、左ペインのコンフィギュレーションと比較するコンフィギュレーションバージョンのあるデバイスを選択します。 3. [Version] リストから、比較するコンフィギュレーションバージョンを選びます。Cisco DCNM でアーカイブに保存された任意のバージョン、現在デバイスにある実行コンフィギュレーションまたはスタートアップコンフィギュレーションのいずれかを使用できます。 4.  アイコンをクリックします。 右のコンフィギュレーション ペインには、指定したコンフィギュレーションバージョンが表示されます。

[Details] ペインの [Compare] タブには、2 つのコンフィギュレーションバージョンが左右のペインに表示されます。

ステップ 6 必要に応じて、バージョン比較ツールを使用します。詳細については、「バージョン比較ツールの使用」(P.8-10) を参照してください。

バージョン比較ツールの使用


バージョン ブラウザを使用してコンフィギュレーション バージョンを比較する場合、[Details] ペインの [Compare] タブには、比較に役立つオプションが多数あります。










(注)

バージョン比較ツールを使用するには、2 つのコンフィギュレーションの比較を実行している必要があります。詳細については、「[コンフィギュレーション バージョンの比較](#)」(P.8-8) を参照してください。

次の表で説明されているオプションを使用すると、2 つのコンフィギュレーション バージョンの比較に役立ちます。

オプション アイコンと名前	オプションの使用方法
 完全表示と相違表示	リストから目的の表示オプションを選択します。オプションには次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> : 両方のコンフィギュレーション バージョンをすべて表示します。 : 各コンフィギュレーションの相違があるセクションだけを表示します。
 次の相違	 アイコンをクリックすると、表示されている 2 つのコンフィギュレーションの次の相違にジャンプします。
 前の相違	 アイコンをクリックすると、表示されている 2 つのコンフィギュレーションの前の相違にジャンプします。
 ブックマーク	<ol style="list-style-type: none"> いずれかのコンフィギュレーション ペインで行をクリックします。  アイコンをクリックします。 行番号の隣にブックマーク アイコンが表示されます。
 次のブックマーク	<ol style="list-style-type: none"> 表示するブックマーク行があるコンフィギュレーション ペインをクリックします。  アイコンをクリックします。 両方のペインのコンフィギュレーションが、次のブックマーク行にジャンプします。
 前のブックマーク	<ol style="list-style-type: none"> 表示するブックマーク行があるコンフィギュレーション ペインをクリックします。  アイコンをクリックします。 両方のペインのコンフィギュレーションが、前のブックマーク行にジャンプします。

オプション アイコンと 名前	オプションの使用方法
 比較	<p>このオプションを使用して、右のコンフィギュレーション ペインに表示されているアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンを選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [Device] リストから、左ペインのコンフィギュレーションと比較するコンフィギュレーション バージョンのあるデバイスを選択します。 [Version] リストから、比較するコンフィギュレーション バージョンを選びます。Cisco DCNM でアーカイブに保存された任意のバージョン、現在デバイスにある実行コンフィギュレーションまたはスタートアップ コンフィギュレーションのいずれかを使用できます。  アイコンをクリックします。 <p>右のコンフィギュレーション ペインには、指定したコンフィギュレーション バージョンが表示されます。</p>
 リセット	<p>次を実行するときに  アイコンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのコンフィギュレーションのマージを取り消す。 すべてのブックマークを削除する。 両方のコンフィギュレーション ペインの最初の行にジャンプする。 [Full Configuration] ビューを使用する。
 マージ	<p>このオプションを使用して、コンフィギュレーションの相違を左のコンフィギュレーション ペインから右のコンフィギュレーション ペインにコピーします。</p> <p>手順の詳細については、「コンフィギュレーションの相違のマージ」(P.8-11) を参照してください。</p>
 名前を付けて保存	<p> アイコンをクリックして、表示された [Save] ダイアログボックスで指定した場所とファイル名で、右ペインのコンフィギュレーションを保存します。</p>

コンフィギュレーションの相違のマージ



2つのコンフィギュレーション バージョンの比較中に、相違のある行をマージできます。マージ機能を使用すると、左のコンフィギュレーション ペインに表示されているすべての行を、右のコンフィギュレーション ペインに表示されているコンフィギュレーションにマージできます。

作業を開始する前に




相違のある 2つのコンフィギュレーション バージョンの比較を実行している必要があります。


変更をマージするコンフィギュレーション バージョンが、右のコンフィギュレーション ペインに表示されていることを確認します。

手順の詳細

- ステップ 1** 必要に応じて、 アイコンと  アイコンを使用して、左のコンフィギュレーション ペインから右のコンフィギュレーション ペインにマージする行にジャンプします。





ヒント  アイコンは、 アイコンと  アイコンを使用して相違を見つける場合だけに利用できます。

- ステップ 2**  アイコンをクリックします。
左ペインで選択されているコンフィギュレーション行が、右ペインで選択されている行に置き換わります。

- ステップ 3** 必要に応じて、[ステップ 1](#) および [ステップ 2](#) を繰り返します。



ヒント すべてのマージを取り消すには、 アイコンをクリックします。

- ステップ 4** (任意) 左ペインのコンフィギュレーションのコピーを ASCII テキスト ファイルとして保存する場合、 アイコンをクリックし、[Save] ダイアログボックスを使用して、指定した場所とファイル名でコンフィギュレーションを保存します。

コンフィギュレーション ロールバックの実行

Cisco Nexus 7000 シリーズの管理対象デバイスのコンフィギュレーションを、Cisco DCNM でアーカイブに保存した以前のバージョンにロールバックできます。ロールバックを実行すると、管理対象デバイスの実行コンフィギュレーションが、指定したアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンに置き換わります。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに Cisco Nexus 7000 シリーズの管理対象デバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョンブラウザに表示されます。

ロールバックで使用するアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンは、Cisco DCNM に存在する必要があります。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。

[Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。

- ステップ 2** コンフィギュレーションのロールバックを実行する Cisco Nexus 7000 シリーズのデバイスをクリックします。

[Details] ペインに、[Rollback History] セクションなどのデバイスに関するアーカイブ情報が表示されます。

- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、デバイスをダブルクリックして、デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーションを表示します。

ステップ 4 デバイスで実行コンフィギュレーションとして使用するアーカイブ済みコンフィギュレーションのバージョンをクリックします。

ステップ 5 次のいずれかを行います。

- デバイスでスタートアップ コンフィギュレーションとして選択したコンフィギュレーション バージョンを保存するには、次のロールバック オプションのいずれかを選択します。
 - ロールバック中にコンフィギュレーション コマンドが失敗した場合に、Cisco DCNM でデバイスの元の実行コンフィギュレーションを回復するには、メニュー バーで [Actions] > [Rollback and Save as Start-up] > [Restore Original Config on Error (Atomic)] の順に選択します。
 - ロールバック中にコンフィギュレーション エラーが発生しても、Cisco DCNM で無視する場合は、メニュー バーで [Actions] > [Rollback and Save as Start-up] > [Skip Errors and Rollback (Best Effort)] の順に選択します。
 - 最初のコンフィギュレーション エラーで Cisco DCNM でロールバックを停止するには、メニュー バーで [Actions] > [Rollback and Save as Start-up] > [Stop Rollback at First Error] の順に選択します。
- 現在デバイスにあるスタートアップ コンフィギュレーションに影響を与えずにロールバックを実行するには、次のロールバック オプションのいずれかを選択します。
 - ロールバック中にコンフィギュレーション コマンドが失敗した場合に、Cisco DCNM でデバイスの元の実行コンフィギュレーションを回復するには、メニュー バーで [Actions] > [Rollback] > [Restore Original Config on Error (Atomic)] の順に選択します。
 - ロールバック中のコンフィギュレーション エラーを Cisco DCNM で無視するには、メニュー バーで [Actions] > [Rollback] > [Skip Errors and Rollback (Best Effort)] の順に選択します。
 - 最初のコンフィギュレーション エラーで Cisco DCNM でロールバックを停止するには、メニュー バーで [Actions] > [Rollback] > [Stop Rollback at First Error] の順に選択します。

Cisco DCNM はロールバック操作を開始します。

デバイスのロールバック履歴の表示

Cisco Nexus 7000 シリーズのデバイスのロールバック履歴を表示できます。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに Cisco Nexus 7000 シリーズの管理対象デバイスが加えられている必要があります。ライセンスを持つデバイスだけがバージョン ブラウザに表示されます。

手順の詳細

ステップ 1 [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。

[Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。

ステップ 2 ロールバック履歴を表示するデバイスをクリックします。

[Details] ペインに、[Rollback History] セクションなどのデバイスに関するアーカイブ情報が表示されます。

ステップ 3 (任意) 必要に応じて、[Rollback History] セクションをダブルクリックして展開します。

[Rollback History] セクションには、ロールバック履歴のイベントの表が表示されます。コンフィギュレーション ロールバックがデバイスで実行されたことがない場合、この表は空です。

デバイスのすべてのアーカイブ済みコンフィギュレーションの削除

デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンをすべて削除できます。



(注) アーカイブ済みコンフィギュレーションの特定のバージョンを削除することはできません。

作業を開始する前に

デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンがすべて不要であることを確認します。削除を取り消すことはできません。また、Cisco DCNM クライアントでは、アーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンの削除を実行するかどうかの確認は求めません。

手順の詳細

ステップ 1 [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Version Browser] の順に選択します。

[Summary] ペインにデバイスの表が表示されます。

ステップ 2 削除するアーカイブ済みコンフィギュレーションのあるデバイスをクリックします。

ステップ 3 適切なデバイスをクリックしたことを確認します。



(注) 次の手順でアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンを削除するときに、削除するかどうかの確認は求められません。

ステップ 4 メニュー バーから [Actions] > [Delete All Versions] の順に選択します。

選択されているデバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーションが [Summary] ペインから削除されます。

アーカイブ ジョブの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「アーカイブ ジョブの設定」 (P.8-15)
- 「アーカイブ ジョブのイネーブルとディセーブル」 (P.8-16)
- 「アーカイブ ジョブの削除」 (P.8-16)
- 「アーカイブ ジョブの詳細の表示」 (P.8-17)
- 「アーカイブ ジョブの履歴の表示」 (P.8-17)

アーカイブ ジョブの設定

アーカイブ ジョブを作成することも、既存のアーカイブ ジョブを変更することもできます。



(注)

デフォルトでは、新しいアーカイブ ジョブはイネーブルです。

作業を開始する前に

コンフィギュレーション変更管理で管理対象デバイスを使用するには、Cisco DCNM のライセンスを持つデバイスのリストに、そのデバイスが加えられている必要があります。アーカイブ ジョブには、ライセンスを持つデバイスだけを含めることができます。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Archival Jobs] の順に選択します。
[Summary] ペインにアーカイブ ジョブの表が表示されます。
- ステップ 2** 次のいずれかを行います。
- アーカイブ ジョブを作成する場合、メニュー バーから [File] > [New Job] の順に選択します。
 - 既存のアーカイブ ジョブを変更する場合、[Summary] ペインで変更するジョブをクリックします。
- [Details] ペインにはジョブの [Details] タブと [Archival History] タブが表示されます。
- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、[Details] ペインで [Details] タブをクリックします。
- ステップ 4** (任意) [Comments] フィールドに、ジョブのコメントを入力します。
- ステップ 5** (任意) ジョブでコンフィギュレーションを特定の時間にアーカイブに保存するには、次の手順を実行します。
- a. [Archive at Specified Time] オプション ボタンをクリックします。
 - b. [Days] チェックボックスの行で、アーカイブ ジョブを実行するそれぞれの曜日を選択します。
 - c. 次のいずれかを行います。
 - ジョブでコンフィギュレーションを定期的にアーカイブに保存するには、[Archive Interval] オプション ボタンをクリックし、隣にあるボックスとリストを使用して間隔を指定します。間隔は分単位または時単位で指定できます。最大間隔はそれぞれ 59 分または 23 時間です。
 - ジョブがアクティブな日ごとに 1 回、ジョブでコンフィギュレーションをアーカイブに保存するには、[Archive at] オプション ボタンをクリックして、隣にあるボックスを使用してジョブを開始する時間を指定します。
- ステップ 6** (任意) ジョブに含まれているデバイスのコンフィギュレーションへの変更が Cisco DCNM で検出されるたびに、ジョブでコンフィギュレーションをアーカイブに保存するには、[Archive whenever a Configuration Change is Detected] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 7** 1 台以上のデバイスをアーカイブ ジョブに追加するには、次の手順を実行します。
- a. [Device] で空白の領域を右クリックして、[Add New Device] を選択します。
利用可能なデバイスと選択されているデバイスがダイアログボックスに表示されます。
 - a. [Available Devices] で、追加する各デバイスをクリックし、[Add] をクリックします。



ヒント ジョブにすべてのデバイスを追加するには、[Add All] をクリックします。

■ アーカイブ ジョブの設定

b. [OK] をクリックします。

追加したデバイスが [Device] に表示されます。

ステップ 8 アーカイブ ジョブからデバイスを削除するには、次の手順を実行します。

a. [Device] でジョブから削除するデバイスをクリックします。

b. デバイスを右クリックして、[Remove Device] を選択します。

削除したデバイスが [Device] から削除されます。

ステップ 9 メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を Cisco DCNM サーバに保存します。

アーカイブ ジョブを作成すると、そのジョブはデフォルトでイネーブルになります。既存のアーカイブ ジョブを変更すると、ジョブのイネーブルまたはディセーブルは変更されません。

アーカイブ ジョブのイネーブルとディセーブル

アーカイブ ジョブをイネーブルまたはディセーブルにできます。

手順の詳細

ステップ 1 [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Archival Jobs] の順に選択します。

[Summary] ペインにアーカイブ ジョブの表が表示されます。[Job ID] カラムで、イネーブルになっているジョブには緑の三角が、ディセーブルになっているジョブには赤の四角が表示されます。

ステップ 2 [Summary] ペインで、イネーブルまたはディセーブルにするアーカイブ ジョブをクリックします。

ステップ 3 次のいずれかを行います。

- ジョブをイネーブルにするには、メニュー バーから [Actions] > [Enable] の順に選択します。[Job ID] カラムのアイコンが緑の三角に変わります。
- ジョブをディセーブルにするには、メニュー バーから [Actions] > [Disable] の順に選択します。[Job ID] カラムのアイコンが変化して赤い四角になります。

変更内容を保存する必要はありません。

アーカイブ ジョブの削除

デフォルトのアーカイブ ジョブ以外のアーカイブ ジョブを削除できます。アーカイブ ジョブを削除する場合、削除されたジョブに含まれているすべてのデバイスは自動的にデフォルトのアーカイブ ジョブに追加されます。

作業を開始する前に

Cisco DCNM には少なくとも 1 つのアーカイブ ジョブが必要です。デフォルトのアーカイブ ジョブは削除できません。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Archival Jobs] の順に選択します。
[Summary] ペインにアーカイブ ジョブの表が表示されます。
- ステップ 2** [Summary] ペインで、削除するアーカイブ ジョブをクリックします。
- ステップ 3** メニュー バーで、[Actions] > [Delete] の順に選択します。
アーカイブ ジョブが [Summary] ペインから削除されます。
削除されたジョブに含まれていたデバイスは、自動的にデフォルトのアーカイブ ジョブに追加されます。
変更内容を保存する必要はありません。
-

アーカイブ ジョブの詳細の表示

ジョブ ID、ジョブのオーナー、ジョブのコメント、ジョブのスケジュール、ジョブに含まれているデバイスなどのアーカイブ ジョブの詳細を表示できます。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Archival Jobs] の順に選択します。
[Summary] ペインにアーカイブ ジョブの表が表示されます。
- ステップ 2** [Summary] ペインで、表示する詳細が含まれるアーカイブ ジョブをクリックします。
[Details] ペインには、[Details] タブなどアーカイブ ジョブの情報が表示されます。
- ステップ 3** (任意) 必要に応じて、[Details] ペインで [Details] タブをクリックします。
[Details] ペインには、選択したアーカイブ ジョブの情報と設定が表示されます。
-

アーカイブ ジョブの履歴の表示

アーカイブ ジョブの履歴を表示できます。

作業を開始する前に

アーカイブ ジョブは少なくとも一度は実行されている必要があります。実行されていないと、アーカイブ履歴のエントリは表示されません。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから、[Configuration Change Management] > [Archival Jobs] の順に選択します。
[Summary] ペインにアーカイブ ジョブの表が表示されます。
- ステップ 2** [Summary] ペインで、表示するアーカイブ履歴があるアーカイブ ジョブをクリックします。
[Details] ペインには、[Archival History] タブなどアーカイブ ジョブの情報が表示されます。

■ アーカイブの設定

- ステップ 3** [Details] ペインで、[Archival History] タブをクリックします。
- [Details] ペインには、アーカイブ履歴のエントリが実行された日時の順番にエントリが表示されます。
- ステップ 4** (任意) アーカイブ履歴のエントリの詳細をさらに表示するには、[Status] カラムでプラス シンボル (+) をクリックして、エントリを展開します。
- 展開されたエントリには、エントリに含まれている各デバイスの情報が一覧で表示されます。

アーカイブの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「バージョンおよび履歴の設定」(P.8-18)
- 「ロールバック ファイル サーバの設定」(P.8-18)

バージョンおよび履歴の設定

次のコンフィギュレーション バージョンと履歴を設定できます。

- 管理対象デバイスごとに Cisco DCNM がアーカイブに保存するコンフィギュレーション バージョンの最大数。
- 管理対象デバイスごとに Cisco DCNM が保持するロールバック履歴状態およびアーカイブ履歴状態のエントリの最大数。

手順の詳細

- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから [Configuration Change Management] > [Archival Settings] の順に選択します。
- [Contents] ペインに [Archival Settings] フィールドが表示されます。
- ステップ 2** (任意) [Maximum Version for a Device [0 - 50]] ボックスを使用して、管理対象デバイスごとに Cisco DCNM がアーカイブに保存するコンフィギュレーション バージョンの最大数を設定します。
- ステップ 3** (任意) [Max Rollback and Archival History Status [0 - 100]] ボックスを使用して、管理対象デバイスごとに Cisco DCNM が保持するロールバック履歴状態およびアーカイブ履歴状態のエントリの最大数を設定します。
- ステップ 4** メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を Cisco DCNM サーバに保存します。

ロールバック ファイル サーバの設定

コンフィギュレーション ロールバック中に、Cisco DCNM が特定のファイル サーバを使用するか、または設定されている使用可能な任意のファイル サーバを使用するかどうかを設定できます。

作業を開始する前に

Cisco DCNM には少なくとも 1 台のファイル サーバを設定する必要があります。詳細については、「[ファイル サーバの追加](#)」(P.7-13) を参照してください。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Feature Selector] ペインから [Configuration Change Management] > [Archival Settings] の順に選択します。
- [Contents] ペインに [Archival Settings] フィールドが表示されます。
- ステップ 2** (任意) コンフィギュレーション ロールバック中に、使用可能な任意のファイル サーバを Cisco DCNM で使用する場合、[File Server for Configuration Rollback] で [Any File Server] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 3** (任意) コンフィギュレーション ロールバック中に Cisco DCNM が使用するファイル サーバを指定するには、次の手順を実行します。
- [File Server for Configuration Rollback] で、[Use the following File Server] オプション ボタンをクリックします。
 - [File Server] ドロップダウン リストで、ファイル サーバを選択します。
- ステップ 4** メニュー バーで、[File] > [Deploy] の順に選択して、変更内容を Cisco DCNM サーバに保存します。
-

コンフィギュレーション変更管理のフィールドの説明

ここでは、コンフィギュレーション変更管理の [Feature Selector] ドロワーで利用可能な次の 3 つの機能のフィールドを説明します。

- 「[バージョン ブラウザのフィールドの説明](#)」(P.8-19)
- 「[アーカイブ ジョブのフィールドの説明](#)」(P.8-21)
- 「[\[Archival Settings Contents\] ペインのフィールドの説明](#)」(P.8-23)

バージョン ブラウザのフィールドの説明

ここでは、コンフィギュレーション変更管理機能の次のフィールドを説明します。

- 「[\[Device\] : \[Details\] : \[Archival Status\] セクション](#)」(P.8-20)
- 「[\[Device\] : \[Details\] : \[Rollback History\] セクション](#)」(P.8-20)
- 「[\[Device\] : \[Details\] : \[Archival History\] セクション](#)」(P.8-20)
- 「[\[Version\] : \[Version Details\] タブ](#)」(P.8-20)
- 「[\[Version\] : \[Compare\] タブ](#)」(P.8-21)

■ コンフィギュレーション変更管理のフィールドの説明

[Device] : [Details] : [Archival Status] セクション

表 8-1 [Device] : [Details] : [Archival Status] セクション

フィールド	説明
[Status]	表示専用フィールド。デバイスが割り当てられているアーカイブ ジョブがイネーブルかディセーブルかを示します。
[Schedule]	表示専用フィールド。デバイスが割り当てられているアーカイブ ジョブの実行にスケジュールが設定されているかどうかです。
[Job ID]	表示専用フィールド。デバイスが割り当てられているアーカイブ ジョブの ID 番号です。

[Device] : [Details] : [Rollback History] セクション

表 8-2 [Device] : [Details] : [Rollback History] セクション

フィールド	説明
[Time]	表示専用フィールド。ロールバックが実行された日時です。
[Version]	表示専用フィールド。ロールバックの結果、実行コンフィギュレーションになったコンフィギュレーションバージョンです。
[User]	表示専用フィールド。ロールバックを開始した Cisco DCNM のユーザ名です。
[Status]	表示専用フィールド。ロールバックが成功したか失敗したかを示します。

[Device] : [Details] : [Archival History] セクション

表 8-3 [Device] : [Details] : [Archival History] セクション

フィールド	説明
[Time Stamp]	表示専用フィールド。アーカイブ イベントが実行された日時です。
[Job ID]	表示専用フィールド。アーカイブ イベントを作成したアーカイブ ジョブの ID 番号です。
[Status]	表示専用フィールド。アーカイブ イベントが成功したか、失敗したか、またはスキップされたかを示します。
[Reason]	表示専用フィールド。スキップされたイベントまたは失敗したイベントの理由です。

[Version] : [Version Details] タブ

表 8-4 [Version] : [Version Details] タブ

フィールド	説明
[Config Version ID]	表示専用フィールド。アーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンのバージョン ID 番号です。デバイスのアーカイブ済みコンフィギュレーションには、それぞれ固有のバージョン ID が付けられます。

表 8-4 [Version] : [Version Details] タブ (続き)

フィールド	説明
[Creation Time]	表示専用フィールド。アーカイブ ジョブがコンフィギュレーション バージョンを作成した日時です。
[Created By]	表示専用フィールド。そのコンフィギュレーション バージョンを作成したアーカイブ ジョブを作成した Cisco DCNM ユーザのユーザ名、またはそのコンフィギュレーション バージョンを作成したアーカイブ イベントを手動で開始した Cisco DCNM ユーザのユーザ名です。
[Comments]	Cisco DCNM ユーザが入力したテキストです。

[Version] : [Compare] タブ

表 8-5 [Version] : [Compare] タブ

フィールド	説明
[Device]	コンフィギュレーション バージョンを取得した管理対象デバイスの名前です。左のコンフィギュレーション ペインでは、このフィールドは表示だけです。[Compare] タブの右のコンフィギュレーション ペインではこのフィールドを設定でき、Cisco DCNM のライセンスに追加した任意の管理対象デバイスを選択できます。
[Version]	アーカイブ済みコンフィギュレーションのコンフィギュレーション バージョン ID です。左のコンフィギュレーション ペインでは、このフィールドは表示だけです。[Compare] タブの右のコンフィギュレーション ペインでは、このフィールドは次のオプションのあるドロップダウン リストです。 <ul style="list-style-type: none"> [Configuration version IDs] : Cisco DCNM で現在使用できるアーカイブ済みコンフィギュレーション バージョンの数です。 [Running-Configuration] : [Device] フィールドで選択されている管理対象デバイスの現在の実行コンフィギュレーションです。 [Start-up Config] : [Device] フィールドで選択されている管理対象デバイスの現在のスタートアップ コンフィギュレーションです。

アーカイブ ジョブのフィールドの説明

ここでは、アーカイブ ジョブ機能の次のフィールドを説明します。

- 「[Archival Job] : [Details] タブ」 (P.8-21)
- 「[Archival Job] : [Archival History] タブ」 (P.8-22)

[Archival Job] : [Details] タブ

表 8-6 [Archival Job] : [Details] タブ

フィールド	説明
[General]	
[Job ID]	表示専用フィールド。アーカイブ ジョブの ID 番号です。

■ コンフィギュレーション変更管理のフィールドの説明

表 8-6 [Archival Job] : [Details] タブ (続き)

フィールド	説明
[Owner]	表示専用フィールド。アーカイブ ジョブを作成した Cisco DCNM ユーザのユーザ名です。
[Comments]	Cisco DCNM ユーザが入力したテキストです。
[Settings]	
[Enable Archival]	アーカイブ ジョブがイネーブルかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
[Archive at Specified Time]	[Days and Archival Interval] フィールドまたは [Archive] フィールドで指定されている時間に行われたアーカイブ ジョブです。
[Days]	アーカイブ ジョブが実行される曜日です。デフォルトではすべてのチェックボックスが選択されているため、個別の曜日のチェックボックスは利用できません。
[Archive Interval]	アーカイブ ジョブを定期的に行うことを指定します。このオプションボタンの右にあるボックスで間隔の値を指定し、単位をドロップダウンリストで指定します。
[Archive at]	アクティブな日にアーカイブ ジョブを 1 回実行することを指定します。時間はオプション ボタンの右のボックスで指定します。
[Archive whenever a Configuration Change is Detected]	デバイスの実行コンフィギュレーションの変更が検出されると、ジョブにあるデバイスの実行コンフィギュレーションを Cisco DCNM でアーカイブに保存することを指定します。
[Devices]	
[Name]	アーカイブ ジョブに割り当てられているデバイスの名前です。
[IP Address]	デバイスへの接続に Cisco DCNM が使用する IP アドレスです。

[Archival Job] : [Archival History] タブ

表 8-7 [Installation Job] : [Details] : [General] セクション

フィールド	説明
[Time]	表示専用フィールド。アーカイブ ジョブが実行された日時です。
[Status]	表示専用フィールド。ジョブでアーカイブ ジョブが正常に行われたデバイスの数、失敗したデバイスの数、スキップされたデバイスの数を示します。各ステータスの後のカッコ内に数が表示されます。
[Device Name]	表示専用フィールド。ジョブに割り当てられているデバイスの名前です。アーカイブ履歴のエントリのステータスを展開すると、このフィールドが表示されます。
[IP Address]	表示専用フィールド。デバイスへの接続に Cisco DCNM が使用した IP アドレスです。アーカイブ履歴のエントリのステータスを展開すると、このフィールドが表示されます。
[Status (per Device)]	表示専用フィールド。デバイスでアーカイブ ジョブが正常に行われたか、失敗したか、スキップされたかを示します。

表 8-7 [Installation Job] : [Details] : [General] セクション (続き)

フィールド	説明
[Reason]	表示専用フィールド。ステータスの説明です。たとえば、前回のアーカイブ ジョブの実行から実行コンフィギュレーションが変更されていないためにデバイスがスキップされた場合、[Reason] フィールドには次のテキストが表示されます。 Archival skipped as there are no changes from the previous version

[Archival Settings Contents] ペインのフィールドの説明

表 8-8 [Archival Settings Contents] ペイン

フィールド	説明
[Maximum Versions for a Device]	アーカイブ ジョブに含まれているデバイスごとに、Cisco DCNM が保存するアーカイブ済みコンフィギュレーションバージョンの最大数です。有効な値は 0 ~ 50 です。デフォルト値は 50 です。
[Max Rollback and Archival History Status]	デバイスごとに Cisco DCNM が保存するロールバック履歴とアーカイブ履歴のステータス エントリの最大数です。
[File Server for Configuration Rollback]	
[Any File Server]	コンフィギュレーション ロールバック中に Cisco DCNM がコンフィギュレーションをアップロードするファイル サーバを選択することを指定します。Cisco DCNM に設定している任意のファイル サーバを使用できます。
[Use the following File Server]	コンフィギュレーション ロールバック中に、[File Server] ドロップダウンリストで指定するファイル サーバに Cisco DCNM がコンフィギュレーションをアップロードすることを指定します。
[File Server]	ロールバック中に Cisco DCNM がコンフィギュレーションをアップロードするファイル サーバの IP アドレスまたは DNS 名です。このフィールドは、[Use the following File Server] オプション ボタンを選択するときだけに利用できます。

その他の関連資料

コンフィギュレーション変更管理に関する詳細情報については、次の項を参照してください。

- 「関連資料」 (P.8-23)
- 「標準規格」 (P.8-24)

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco DCNM のファイル サーバ	「ファイル サーバ」 (P.7-3)
Cisco NX-OS でのコンフィギュレーション ロールバック	『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS System Management Configuration Guide, Release 5.x』

標準規格

標準規格	タイトル
この機能でサポートされる新規または改訂された標準規格はありません。また、この機能による既存の標準規格サポートの変更はありません。	—

コンフィギュレーション変更管理の機能履歴

表 8-9 は、この機能のリリースの履歴です。

表 8-9 コンフィギュレーション変更管理の機能履歴

機能名	リリース	機能情報
コンフィギュレーション変更管理	5.0(2)	Cisco Nexus シリーズのすべての管理対象スイッチにサポートが拡張されました。